



キッズだより

令和7年5月 第38号
たかといちどいキッズ



♪ こーりゃ どーこの じーそうさん
うーみの はーたの じーそうさん
うーみに つーけて どぼーん♪

新しい環境に慣れず不安そうにしていた子どもたちも、毎日保育園に来ることで楽しいことが少しずつわかってきたようです。朝はまだ泣くこともありますが、安心する保育士と好きな遊びを見つけ一緒に楽しく遊んでいることに一安心しています。5月から0歳児の友だちが2名入園します。19名の子どもたちが、安心して過ごせる第2のお家のような雰囲気を、保育士一丸となって作っていきたいと思います。保護者の皆さんも安心して預けられるように、日々の子どもの様子を話したり成長を共に喜んだりしてコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。

保育園では、毎日わらべうたや季節にあった歌を歌っています。わらべうたは、1対1で子どもの目を見て、身体に触れながらゆっくりゆったりと心に届くように歌います。泣いていた不安そうにしていたりする時にわらべうたを歌うと、子どもが歌を聴き少しずつ安心する様子が見られます。YouTubeやCDなどから流れてくる音楽とは違い、人との触れ合いを通じて愛着を形成できたり、子どもの情緒を安定させたりする効果もあります。散歩中に季節にあった歌を口ずさむと、子どもたちは覚え、一緒に歌うことを楽しんでいます。蝶を見つけると「ちょうちょ〜♪」、こいのぼりを見ると「やねよ〜りたかい♪」、など歌いながら歩いています。草花の生長を見つけることも喜んでいきます。3月に園の前の広場では、つくしが芽を出します。「みてみて!」「ここにもあった」と子どもが見つかる速さは、大人顔負けです。タンポポから綿毛になる様子を見たり、白詰草が増えていく様子を喜んだりなど、歩きながら自然に触れることを楽しんでいます。以前もわらべうたを紹介してきましたが、子どもが繰り返し楽しんでいるわらべうたを紹介していきます。このわらべうたは、子どもを横抱きにして揺らしながら歌います。最後の「どぼーん」で優しく下におろします。24日の親子遠足でも紹介したいと思っています。他のわらべうたやふれあい遊びなど、親子でふれあいながら楽しめる遊びを用意しています。雨天の場合は、キッズで楽しめるプログラムを計画しています。



北坂 美知子

5月の予定

避難訓練

8日(木)・30日(金)

誕生会

14日(水)

救急訓練

16日(金)

発育測定

19日(月)

親子遠足

23日(金)





あさひ・ひかりぐみ



初めての給食とは思えない程、パクパクと美味しそうに食べる子どもたち。ご飯が大好きなことが伝わってきます。保育士がスプーンに食材を乗せると、「あーん」と口を大きく開ける姿が、とても可愛いです。手づかみで食べようとしたり、スプーンにも興味をもち、握って使ってみようとしたりする姿も見られます。今後も一人ひとりに合わせて優しく声をかけ、楽しく食事ができるように丁寧に関わっていきます。

少しずつ保育士に慣れてきて、自分から関わろうとしたり、目が合うと嬉しそうにしたりする姿が増えてきました。今月も関わりを楽しめるようふれあい遊びをしていきます。



ごくごく



あーん



おかわりしようね



スプーンつかえるよ



ひかりぐみ



先月は新しい環境に慣れるように、一対一の関わりを大切にゆったりと関わってきました。少しずつ生活に慣れ、保育士や友だちに興味を示し嬉しそうにしています。保育士が楽しく遊んでいる姿を見せながら、「一緒にしよう」と誘いかけるとポットン落としやままごとを楽しんでいます。ままごとでは、皿にチェーンリングや食材を入れ、食べる真似をすると子どもたちは次々に料理を作って楽しんでいます。好きな遊びを見つけ一緒に遊ぶことで、十分に楽しめるようにしていきます。

子どもたちは少しずつ園の食事に慣れ、保育士や友だちと一緒に嬉しそうに食べています。「おいしいね」「どれが好き？」など会話することで、食べ物に興味をもち、楽しく食事できるようにしていきます。



はいかな？



まぜまぜ



どこかな？



ひかり・つばきぐみ



先月は、身の回りのことに興味をもてるように関わってきました。散歩に行く準備をする時に、自分の靴下や帽子を保育士に「やって」と持ってきます。その時は、「一緒にやってみよう」と誘いながら援助をしたり、履き方を見せたりすることで、気持ちが少しずつ芽生え、一生懸命履こうとしていました。自分でしようとする姿を認め、できた時は「自分でできたね」と声をかけると、得意な表情を見せていました。今後も自分で少しずつ身の回りのことに取り組めるように、その都度前向きな声を掛け、励ましながら手を添えて援助をしていきます。

5月は、戸外や室内でのびのびと体を動かして遊べるように、妙法寺川左岸公園やたかとりちどり保育園の屋上園庭、遊戯室に行く機会を作ります。



はけるかな？





いづみ



天気の良い日には散歩に出かけのびのびと体を動かして遊びました。子どもたちは、「まてまてー」と言って追いかっこをしたり、草花を見て「きれいだね」「あった」と発見したものを保育士に伝えたりしています。妙法寺川左岸公園の固定遊具に挑戦し「みてみて」と嬉しそうにしています。その姿を十分に認めることで「もういっかい」と繰り返し楽しんでいます。今後も子どもの発見に共感したり一緒に体を動かしたりして戸外で遊ぶことを楽しめるようにしていきます。

散歩の身支度に興味をもち、靴下や靴を自分で履こうとすることがあります。やってみようとする姿を見守りながら仕方を伝えたり援助したりしていきます。



まてまてー



固定遊具に挑戦



においは
どうかな？



《初山、料理を続けています！》



昨年度の園だよりに、「料理をすることを頑張ります！」と意気込みを書きました（令和6年7月号参照）。まだ苦手意識はあるものの、なんとか続けることができています。料理を続けてみて、少しずつ変わってきたことがあります。1つ目はせいろデビューをしました。無印良品で話題になっていたせいろを購入し、蒸し料理の扉を開きました。なんだか難しそう、使いこなせないのでは、と不安に思っていました。実際に使ってみると、切って蒸すだけという工程の少なさに驚きました。メニューを考えることが億劫な日は、冷蔵庫にあるものを切り、なんでも蒸しています。2つ目はコストコデビューをしました。今までは、週に2、3回近くのスーパーで買い物をしていました。コストコで、まとめ買いをするようになったことで、どんな料理を作るか、考えやすくなりました。仕事終わりに買い物へ行くことが減り、平日の負担が軽くなりました。このように、少しずつ料理をすることへのハードルを下げ、料理をしている自分を最大限に認めることで、キッチンに立つモチベーションを保てるようにしています。平日はこのような方法で乗り越えています。土日はどうしても作りたと思えず、外食の日々が続いています。キッチンに立ちたくない、でも外食すると高い…。いい方法はないかなと調べていると“冷凍サブスク弁当”という文字が目にとまりました。更に調べてみると、いくつか種類があり中でも“nosh（ナッシュ）”という宅配サービスに惹かれました。好きなお弁当を選び、それを宅配で届けてもらうサービスなのですが、外食するより安くて健康的なメニューがたくさんあって、メリットがたくさんあるので検討中です。これからも料理を楽しく続けられるよう、日々工夫していきたいと思っています。いいアイデアやおすすめのメニューがあれば、ぜひ教えてください！

初山 このみ

